

## 看護学科 1年 前期 専門基礎科目／専門科目

1. 解剖生理学Ⅰ
2. 解剖生理学Ⅱ
3. 免疫と感染
4. 代謝と栄養
5. 医療学入門
6. 生涯人間発達学
7. 社会福祉概論
8. 看護学概論
9. 看護技術論Ⅰ
10. 生活行動援助技術論
11. 地域・在宅看護学概論
12. 基礎看護学実習Ⅰ

## 看護学科

科目名: 解剖生理学 I			担当教員 氏名: 村井 嘉寛			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っている 山大学医学部病理診断学講座で行われた病理解剖・病理解剖検討会などの経験を生かして授業している						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
人体の構造と機能を学ぶ。(人体の発生と成り立ち;細胞の構造と機能、発生、生体の恒常性、循環器系、呼吸器系、消化器系、骨格系、筋系について学ぶ)						細胞、循環器、呼吸器、消化器、骨、筋肉
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 9.	
A 知識・理解力			看護に活用される理論、技術を身につけるために、人体の構造や機能を理解する			
B 専門的技術			専門的看護技術を修得するために、人体の構造や機能を理解する			
C 論理的思考力			人体の構造や機能を理解し、看護の理論や技術を論理的に説明できる能力を養う			
F チームワーク・リーダーシップ			医療チームの一員であることを認識し、看護師の役割を理解する			
G 倫理観			人体の構造や機能を知ることにより、人間の尊厳を理解し、医療に携わる者としての倫理観を身につける			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項: その他10%は受講態度による。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テストを行い、別に定めた日時に試験する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①細胞の構造と機能を理解する。			【予習】教科書(細胞と組織)を読む。 【復習】トレーニングノート(細胞と組織)		【予習】60分 【復習】60分	
②体や臓器を守るしくみを理解する。			【予習】教科書(皮膚と膜)を読む。 【復習】トレーニングノート(皮膚と膜)		【予習】60分 【復習】60分	
③血液の成分や機能を理解する。			【予習】教科書(血液)を読む。 【復習】トレーニングノート(血液)		【予習】60分 【復習】60分	
④循環器系の血液を送るしくみを理解する。(心臓の構造と機能)			【予習】教科書(循環器系:心臓の構造)を読む。【復習】トレーニングノート(循環器系:心臓の構造)		【予習】60分 【復習】60分	
⑤循環器系の血液を送るしくみを理解する。(血管、リンパ系について)			【予習】教科書(循環器系:血管、リンパ系)を読む。【復習】トレーニングノート(循環器系:血管、リンパ系)		【予習】60分 【復習】60分	
⑥呼吸器系の酸素を取り入れ、二酸化炭素を排出するしくみを理解する。 (1)呼吸器系の構造と機能			【予習】教科書(呼吸器系:呼吸器の構造)を読む。 【復習】トレーニングノート(呼吸器系:呼吸器の構造)		【予習】60分 【復習】60分	
⑦呼吸器系の酸素を取り入れ、二酸化炭素を排出するしくみを理解する。 (2)呼吸のプロセスと調節			【予習】教科書(呼吸器系:呼吸のプロセス)を読む。 【復習】トレーニングノート(呼吸器系:呼吸のプロセス)		【予習】60分 【復習】60分	
⑧消化器系の食物を摂取して消化、吸収、排泄するしくみを理解する。(1)(食欲、咀嚼)			【予習】教科書(消化器系:食欲、咀嚼)を読む。【復習】トレーニングノート(消化器系:食欲、咀嚼)		【予習】60分 【復習】60分	
⑨消化器系の食物を摂取して消化、吸収、排泄するしくみを理解する。(2)(嚥下、消化)			【予習】教科書(消化器系:嚥下、消化)を読む。【復習】トレーニングノート(消化器系:嚥下、消化)		【予習】60分 【復習】60分	
⑩消化器系の食物を摂取して消化、吸収、排泄するしくみを理解する。(3)(吸収、排泄)			【予習】教科書(消化器系:吸収、排泄)を読む。【復習】トレーニングノート(消化器系:吸収、排泄)		【予習】60分 【復習】60分	
⑪泌尿器系の尿をつくるしくみを理解する。(1)(腎臓、尿管)			【予習】教科書(泌尿器系:腎臓、尿管)を読む。【復習】トレーニングノート(泌尿器系:腎臓、尿管)		【予習】60分 【復習】60分	
⑫泌尿器系の尿をつくるしくみを理解する。(2)(膀胱、尿道、排尿の生理)			【予習】教科書(泌尿器系:膀胱、尿道、排尿)を読む。【復習】トレーニングノート(泌尿器系:膀胱、尿道、排尿)		【予習】60分 【復習】60分	
⑬内分泌系の内部環境を整えるしくみを理解する。(視床下部、下垂体、甲状腺)			【予習】教科書(内分泌系:視床下部、下垂体)を読む。 【復習】トレーニングノート(内分泌系:視床下部)		【予習】60分 【復習】60分	
⑭内分泌系の内部環境を整えるしくみを理解する。(上皮小体、膵臓、副腎、性腺)			【予習】教科書(内分泌系:上皮小体、膵臓)を読む。 【復習】トレーニングノート(内分泌系:上皮小体、膵臓)		【予習】60分 【復習】60分	
⑮まとめ			【予習】解剖生理学 I 全体の復習をする。			【予習】120分
使用テキスト: 解剖生理学(メディカ出版)、林正健二著、ISBN978-8404-5374-5 解剖トレーニングノート(医学教育出版社)、竹内修二著、ISBN978-4-627-60-444-9				その他参考文献など: 図書館の解剖生理学関連図書		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 解剖生理学は、全ての看護科目の基礎となります。しっかり勉強してください。						

## 看護学科

科目名: 解剖生理学Ⅱ			担当教員 氏名: 村井 嘉寛		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	専門基礎科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っている 山大学医学部病理診断学講座で行われた病理解剖・病理解剖検討会などの経験を生かして授業している					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
人体の構造と機能を学ぶ。(臓器の構造と働き;神経系、泌尿器系、内分泌系、生殖系、感覚系、免疫系について学ぶ)					神経、泌尿器、内分泌、生殖、感覚、免疫
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 9.	
A 知識・理解力		看護に活用される理論、技術を身につけるために、人体の構造や機能を理解する			
B 専門的技術		専門的看護技術を修得するために、人体の構造や機能を理解する			
D 問題解決力		人体の構造や機能を理解し、看護の理論や技術を論理的に説明できる能力を養う			
F チームワーク・リーダーシップ		医療チームの一員であることを認識し、看護師の役割を理解する			
G 倫理観		人体の構造や機能を知ることにより、人間の尊厳を理解し、医療に携わる者としての倫理観を身につける			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項: その他10%は授業の出席状況と受講態度による。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:適宜小テストを行い、採点し返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①生殖系の子孫を残すしくみを理解する。(女性)			【予習】教科書(生殖系:女性)を読む。 【復習】トレーニングノート(生殖系:女性)	【予習】60分 【復習】60分	
②生殖系の子孫を残すしくみを理解する。(男性)			【予習】教科書(生殖系:男性)を読む。 【復習】トレーニングノート(生殖系:男性)	【予習】60分 【復習】60分	
③骨格系の体を支えるしくみを理解する。(1)(頭蓋、体幹)			【予習】教科書(骨格系:頭蓋、体幹)を読む。 【復習】トレーニングノート(骨格系:頭蓋、体幹)	【予習】60分 【復習】60分	
④骨格系の体を支えるしくみを理解する。(2)(体肢、関節)			【予習】教科書(骨格系:体肢、関節)を読む。 【復習】トレーニングノート(骨格系:体肢、関節)	【予習】60分 【復習】60分	
⑤筋系の体を動かすしくみを理解する。(1)(筋の種類と機能)			【予習】教科書(筋系:筋の種類と機能)を読む。【復習】トレーニングノート(筋系:筋の種類と機能)	【予習】60分 【復習】60分	
⑥筋系の体を動かすしくみを理解する。(2)(骨格筋の解剖生理)			【予習】教科書(筋系:骨格筋の解剖生理)を読む。【復習】トレーニングノート(筋系:骨格筋)	【予習】60分 【復習】60分	
⑦神経系の情報を収集し、判断して伝達するしくみを理解する。(1)(神経組織の構造と機能)			【予習】教科書(神経系:神経組織の構造と機能)を読む。【復習】トレーニングノート(神経系:神経組織の構造)	【予習】60分 【復習】60分	
⑧神経系の情報を収集し、判断して伝達するしくみを理解する。(2)(中枢神経)			【予習】教科書(神経系:中枢神経)を読む。【復習】トレーニングノート(神経系:中枢神経)	【予習】60分 【復習】60分	
⑨神経系の情報を収集し、判断して伝達するしくみを理解する。(3)(末梢神経)			【予習】教科書(神経系:末梢神経)を読む。【復習】トレーニングノート(神経系:末梢神経)	【予習】60分 【復習】60分	
⑩神経系の情報を収集し、判断して伝達するしくみを理解する。(4)(生体のリズム)			【予習】教科書(神経系:生体のリズム)を読む。【復習】トレーニングノート(神経系:生体のリズム)	【予習】60分 【復習】60分	
⑪感覚系の外部から情報を取り入れるしくみを理解する。(1)(視覚、聴覚、平衡感覚)			【予習】教科書(感覚系:視覚、聴覚、平衡感覚)を読む。【復習】トレーニングノート(感覚系:視覚、聴覚、平衡感覚)	【予習】60分 【復習】60分	
⑫感覚系の外部から情報を取り入れるしくみを理解する。(2)(嗅覚、味覚、体性感覚)			【予習】教科書(感覚系:嗅覚、味覚、体性感覚)を読む。【復習】トレーニングノート(感覚系:嗅覚、味覚、体性感覚)	【予習】60分 【復習】60分	
⑬免疫系の異物を認識し排除するしくみを理解する。(1)(自然免疫機構)			【予習】教科書(免疫系:自然免疫機構)を読む。【復習】トレーニングノート(免疫系:自然免疫機構)	【予習】60分 【復習】60分	
⑭免疫系の異物を認識し排除するしくみを理解する。(2)(獲得免疫機構)			【予習】教科書(免疫系:獲得免疫機構)を読む。【復習】トレーニングノート(免疫系:獲得免疫機構)	【予習】60分 【復習】60分	
⑮まとめと試験			【予習】解剖生理学Ⅱ全体の復習をする。	【予習】120分	
使用テキスト: 解剖生理学(メディカ出版)、林正健二著、ISBN978-8404-5374-5 解剖トレーニングノート(医学教育出版社)、竹内修二著、ISBN978-4-627-68-444-9			その他参考文献など: 図書館の解剖生理学関連図書		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 解剖生理学は、全ての看護科目の基礎となります。しっかり勉強してください。					

## 看護学科

科目名: 免疫と感染			担当教員 氏名: 吉井 美穂			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのよ細菌学における研究手法を学んだ看護師経験のある教員が、微生物の生態から人との共存における基 うな授業を行っているか: 礎的知識とその知識をもとにした感染対策の考え方について講義する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
宿主となるヒトと病原体双方の性質と両者の相互関係を理解するために必要な基本的 知識と方法原理を学ぶ					感染症 免疫・生体防御機構 病原体・細菌・ウイルス 寄生虫	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			生体防御機構及び感染症の診断・治療・予防法について理解する			
C 論理的思考力			感染症の臨床的特徴から対処法を論理的に説明できる能力を養う			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 80 %		レポート: %		発表: %		実技試験: %
						その他: 20 %
特記事項: 上記の「その他20%」は授業への参加姿勢や努力を評価する/事前に自己課題を考え、その課題解決に向けての対策をまとめ る。						
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時にテストを実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 最後に確認のための試験を行い、採点し返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①ヒトと感染症の歴史				【予習】教材の予習 【復習】学習内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②感染のしくみ				【予習】教材の予習 【復習】学習内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③免疫と生体防御機構				【予習】教材の予習 【復習】学習内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④法律による感染症予防				【予習】教材の予習 【復習】学習内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤微生物総論				【予習】教材の予習 【復習】学習内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥細菌の性状と主な病原細菌と疾患				【予習】教材の予習 【復習】学習内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦ウイルスの性状と主な病原ウイルスと疾患				【予習】教材の予習 【復習】学習内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧真菌感染症、寄生虫感染及び衛生動物				【予習】教材の予習 【復習】学習内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 藤本秀士編:「わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫」 南山堂 ISBN978-4-525-16233-7				その他参考文献など: 「ビジュアル微生物学」ヌーヴェル ヒロカワ		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 感染症予防対策は、全ての行為の基本になります。基本的知識をしっかりと身につけ て、よりよい看護を目指して下さい。						

## 看護学科

科目名: 代謝と栄養			担当教員 氏名: 村井 嘉寛、越野 庸介		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修
実務経験を用いてどのよう管理栄養士として、臨床の現場での栄養管理について基礎から応用および活用までの知識について分かりやすいような授業を行っているか: 講義している。(越野)					
授業科目の学習教育目標の概要: 生体を構成する物質の性質、機能や代謝など生命を維持するための基礎と共に、食物がどのように消化・吸収されて生体で利用されているかについて学ぶ。さらに、正常な物質代謝が乱れると病気になること、そして、病気になった場合の病態説明と検査・治療法などとの関連性について学ぶ。また、実際の生活に知識を適用する基礎としての栄養と臨床栄養について学ぶ。					キーワード 生化学 消化吸収 栄養 物質代謝 食育 健康づくり
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	
A 知識・理解力		①生体を構成する物質がどのような化合物から成り立っていて、どのような性質や機能を有するか理解する。 ②三大栄養素がどのように消化・吸収されて生体に役立っているか理解する。 ③どのような物質代謝の乱れが病気の原因になるかを学び、その病気の原因と検査・治療法との関連性について理解する。 ④健康づくりと各栄養素とのかかわり(消化・吸収・代謝)療養生活時の食事とのかかわりを理解する。			
C 論理的思考力					
テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %	
テスト: %	レポート: 80 %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項: その他10%は授業の出席状況と受講態度による。(村井) その他20%は授業への参加姿勢を評価する。(越野)					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 回の講義を終了してから、テストを実施する。(村井) 4回の授業終了後レポート提出とする。(越野)					4
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストを採点し返却する。(村井) レポートにコメントを記載して返却する。(越野)					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
【村井】					
①代謝とは何か? 糖質の種類、消化・吸収、グルコースの分解、グリコーゲンの代謝などについて講義する。			【予習】教科書(糖質の代謝)を読む 【復習】①の復習	【予習】60分 【復習】60分	
②脂質の種類、消化・吸収、脂肪酸の分解(β酸化)と生合成、ケトン体の生成と代謝などについて講義する。			【予習】教科書(脂質の代謝)を読む 【復習】②の復習	【予習】60分 【復習】60分	
③タンパク質・アミノ酸の役割、タンパク質の消化・吸収、アミノ酸の代謝(尿素サイクル)について講義する。			【予習】教科書(たんぱく質の代謝)を読む 【復習】③の復習	【予習】60分 【復習】60分	
④三大栄養素の代謝がどのように関連しているか、また、その代謝の乱れがどのような病気を引き起こすかについて講義する。			【予習】教科書(代謝と疾患など)を読む 【復習】④の復習	【予習】60分 【復習】60分	
【越野】					
⑤日本人の食事摂取基準 ・推定平均必要量、推奨量、目安量、耐容上限量、目標量について			【予習】教科書(食事摂取基準)を読む	30分	
⑥疾患別食事療法 消化器系疾患について			【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分	
⑦疾患別食事療法 内分泌・代謝疾患、循環器系疾患、腎疾患について			【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分	
⑧疾患別食事療法 摂食嚥下障害について			【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分	
使用テキスト: 床生化学(ナーシング・グラフィカ)MCメディカ出版 臨床栄養学(ナーシング・グラフィカ)MCメディカ出版			臨	その他参考文献など: 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 三大栄養素がどのような代謝を受けて、私達の健康に役立っているかを学び、その代謝がどのような時に崩れ、どのような病気につながっているかを理解する。(村井) 臨床栄養の実際を含めた授業内容から、具体的なイメージをつかみ、知識と結び付けて理解を深めていただけるよう講義いたします。(越野)					

## 看護学科

科目名： 医療学入門			担当教員 氏名： 金森 昌彦、奥寺 敬、若杉 雅浩、松井健一			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 医療従事者としての経験に基づき、医療の実践とその課題について考える授業を行う。						
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード
医療に携わるものとしての自覚と意欲・倫理観を育成し強化することをねらいとして医学と医療の歴史、現状、課題と展望について学ぶ。 また、救急医療・災害医療・僻地医療・総合医療など多様な場や環境における医療のあり方とチーム医療のあり方を学び、そこにおける医療人としての看護職の役割について考える。 さらに救急蘇生法、AEDの使用法についての実技を体験することによって医療に携わる者としての自覚と意欲・倫理観の育成・強化を図る。						医療者 倫理観 救急医療 災害医療 僻地医療 総合医療 チーム医療 AED
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			1. 2. 3. 4. 5. 6			
A 知識・理解力	医学と医療の歴史、現状、課題と展望について理解する。					
F チームワーク・リーダーシップ	救急医療・災害医療・僻地医療・総合医療など多様な場や環境における医療のあり方とチーム医療のあり方を理解し、医療人としての看護職の役割について考える					
E 自己管理能力	地域医療について理解し、看護領域における学ぶ意欲を高める。					
B 専門的技術	救急蘇生法、AEDの使用法について理解する。					
G 倫理観	医療に携わる者としての自覚と意欲・倫理観を育成・強化する。					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 75 %	レポート： 25 %	発表： %	実技試験： %	その他： %		
特記事項：						
アクティブラーニング要素： (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 教員ごとに指示する。講義後にレポートを提出してもらった場合とテストを行う場合がある。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：【金森】レポートは評価した後に返却する。 【若杉】口頭にて伝える。						
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)
						学習に必要な時間(分)
①【金森】医学・看護学の歩み、高齢化社会における健康と課題について学ぶ。 脊椎髄損傷をテーマに看護師として何が出来るか？何をすべきかを学ぶ。(レポート課題)						テキスト①の 医学看護学概論 <第1章、第2章>およびp46-47を読んでおく 【予習】30分 【復習・レポート作成】90分
②【金森】医療倫理の考え方、医療安全の考え方について学ぶ。 社会支援看護学をテーマに看護師として何が出来るか？何をすべきかを学ぶ。						テキスト①の 医学看護学概論 <第3章、第4章>およびp66-69を読んでおく 【予習】30分 【復習】30分
③【松井】地域医療とは 総合診療とは						90分
④【松井】現在の地域医療の課題と地域での看護師の役割						90分
⑤【若杉】救急医療と災害医療に求められる技術(講義)						90分
⑥【若杉】救急医療と災害医療に求められる技術(実技)						90分
⑦【奥寺】救急医療・災害医療の現状と課題						【予習】100分 【復習】100分
⑧【奥寺】救急医療と災害医療に求められる技術(まとめ)						【予習】100分 【復習】100分
使用テキスト： ①【金森】看護学生のための人間科学—疾病の成り立ちと医療の方向性/第3版(ふくろう出版)ISBN978-4-86186-804-7 ②【奥寺】改訂5版 救急蘇生法の指針2015 医療従事者用(へるす出版)ISBN 978-4-89269-895-8 ③【奥寺】災害看護 寄り添う、つながる、備える(学研メディカル秀潤社)ISBN978-4-7809-1279-1						その他参考文献など： ・知れば変わる自分のカラダ 健康レベルを上げる「身体学」入門(福村出版) ・JRC蘇生ガイドライン2015(医学書院) ・ICLSコースガイドブック(羊土社)
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：【金森】①の授業の後にはレポート課題(2)をまとめ、②の授業の時に提出すること(この課題は評価に含まれる)						

## 看護学科

科目名: 生涯人間発達学				担当教員 氏名: 石津 孝治		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、理解を深める。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
誕生から死に至るまでの心理学的な発達のプロセスについて学ぶ。主に発達の節目における、認知的、人格的、社会的な特徴について取り上げる予定であり、その際、内面的、力動的な観点を重視する。しかし、最近の発達心理学による客観的な知見もできるだけ素材として取り上げたい。					<ul style="list-style-type: none"> <li>発達課題</li> <li>関係性の中での発達</li> </ul>	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 6. 9. 10			
A 知識・理解力			それぞれの節目における発達の特徴が理解できる			
C 論理的思考力			発達の連続性について理解できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストを採点し返却。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①乳児期の発達の特徴について学ぶ(乳児期の知覚、基本的信頼感、個人差)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
②幼児期の発達の特徴について学ぶ(分離個体化、愛着)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
③学童期の発達の特徴について学ぶ(認知発達、対人関係)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
④思春期の発達の特徴について学ぶ(自己の発達、対人関係)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑤青年期の発達の特徴について学ぶ(大人になること、同一性形成)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑥成人期の発達の特徴について学ぶ(生殖性、生産性と中年期危機)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑦老年期の発達の特徴について学ぶ(人生の受容と絶望)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑧発達の本質について学ぶ、まとめ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
使用テキスト: 服部祥子「生涯人間発達論 第3版: 人間への深い理解と愛情を育むために」医学書院 ISBN978-4260041331				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 客観的な研究では把握し難い、発達の内面的な領域について重点を置いて扱います。理解を深めるには、講義の素材を自分のこととして考えたり、また、自分なりに想像することが求められます。この作業を大事にしてください。						

## 看護学科

科目名: 社会福祉概論			担当教員 氏名: 鷹西 恒				
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか福祉士等の資格を有した教員が、相談援助、自治体の各種福祉計画策定等の実務経験を生かして授業を							
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード		
看護の領域において社会福祉を学ぶことは重要である。貧困や救護、虐待、ニート、少子高齢化、年金など生活の中にある福祉的な問題に着目し、それらに法律や施策、社会保障制度がいかに関与しているかを具体的に学ぶ。また、保健、医療・福祉分野におけるネットワークのあり方や自立支援システムについても考察を深める。					社会保険 保健 医療 福祉 社会保障		
授業における学修の到達目標							
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)			2. 6. 9. 10	
A 知識・理解力			社会福祉の概要を学ぶことで総合的な知識力を高めることができる				
C 論理的思考力			社会福祉実践のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる				
D 問題解決力			理論や社会事業を通して問題解決に至る方法と力を身につけることができる				
G 倫理観			福祉の学びを通して生命観や倫理観を身につけることができる				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする							
テスト: 80 %		レポート: 15 %		発表: %		実技試験: %	その他: 5 %
特記事項: その他とは授業の出席状況、姿勢、態度のことである。							
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク							
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートは適時、最終評価は筆記試験で実施する。							
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート返却時のコメント等によってアドバイスを行う。							
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)			
				学習内容	学習に必要な時間(分)		
①生活と福祉 ～ライフスタイルの変遷と諸問題、なぜ福祉が必要なのか～				【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
②社会保障の概念・歴史・制度体系				【事前】②当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
③わが国の社会保険制度 ～なぜ保険金を払うのか～				【事前】③当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
④社会福祉の歴史と援助技術				【事前】④当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑤社会福祉の諸制度と施策～自立支援のための様々な仕掛け～				【事前】⑤当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑥社会福祉行政のしくみ ～専門職はどこで働いているのか～				【事前】⑥当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑦社会保障・社会福祉改革の動向				【事前】⑦当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑧まとめ				【事前】テキスト全体の確認 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
使用テキスト: 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度 メディカルフレンド社 「社会福祉」ISBN:978-4-8392-3378-5				その他参考文献など: 「厚生労働白書」厚生労働省			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 事前・事後学習において、テキストだけでなく、国の指標や各種データ等にも目を通してください。							

科目名: 看護学概論					担当教員 氏名: 炭谷 靖子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	1年次 前期	専門科目	講義	必修	社会福祉主事任用資格	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師・保健師・助産師・管理者としての実務経験を活かして、看護の場や対象の理解と現状について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
看護学概論は、看護に関わる知識・技能を学んでいくための基礎をつくる授業である。内容は「人間社会における専門職業としての看護とは何か」を主題として、看護の歴史の変遷、看護概念の発達と主要な看護理論、看護の目的と機能、対象、方法及び看護活動の現状について学ぶ。 また、看護専門職の役割、責任については保健師助産師看護師法を学び、国際看護師協会及び日本看護協会が定めている倫理綱領を学ぶことを通して各自の倫理観を確認し看護師として必要な基本的態度の育成をめざす。				人間看護 ナース 看護理論 看護倫理 保健師助産師看護師法 KJ法		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4		
A 知識・理解力		人間社会における専門職業としての看護とは何かを考え続ける基礎を作るために ①看護の歴史の変遷、看護概念の発達と主要な看護理論、看護の目的と機能、対象、方法及び看護活動の現状の概略を理解する。				
F チームワーク・リーダーシップ		②わが国における保健医療システムと看護の位置付け、責務、病院における看護管理の考え方と実際の、看護学研究、看護職の責任ある職務遂行や地位向上のための看護職自身による組織的活動の現状の概略を理解する。				
G 倫理観		③保健師助産師看護師法を学び、国際看護師協会及び日本看護協会が定めている倫理綱領を学ぶことを通して各自の倫理観を確認し看護師の役割、責任、必要な基本的態度について具体的なイメージを持つ。				
C 論理的思考力		KJ法を用いてグループワークを行うことをとおして論理的思考、問題解決力、チームワーク、コミュニケーション力を向上させる。また、グループメンバーが自主的に活動するための自己管理能力を養う。				
D 問題解決力						
E 自己管理能力						
F チームワーク・リーダーシップ						
H コミュニケーション力						
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %		レポート: 30 %		発表: 30 %		実技試験: %
						その他: 10 %
特記事項: 講義、課題学習、グループ討議、発表を通して、看護についての学習を深める。 グループ学習の方法は、KJ法を用いたアクティブラーニングとする。 受講態度を重視する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> 、 <u>ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テーマごとにグループ発表、課題レポートの提出を行う。別に定めた日時にまとめの試験を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート、試験については後日、返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①【炭谷】看護への導入(オリエンテーション)-看護師養成の仕組みと短大生としての学び				看護学科の教育について熟読(学生ハンドブック)		240分
②【炭谷】看護とは何か、看護の歴史から				第1章:看護の導入熟読する		240分
③【炭谷】看護とは何か、ナースによる看護の概念-看護覚書に学ぶ				「看護覚書」を読み看護を考える		240分
④【炭谷】看護実践のための理論的根拠(図書館)-看護理論について知る				事前に看護理論のDVDを視聴し授業で話し合う		240分
⑤【炭谷】看護実践のための理論的根拠-看護理論について知る				看護理論の理解の状況をレポートにまとめる		
⑥【炭谷】看護の対象とその理解(個人・家族、地域社会など)				グループ課題の遂行		240分
⑦【炭谷】看護の目的(KJ法) -看護という概念についてより具体化を図る				グループ課題の遂行		240分
⑧【炭谷】看護の方法(KJ法) -看護という概念についてより具体化を図る				グループ課題の遂行		240分
⑨【炭谷】自分の目指す看護師とは-自ら目指す看護師の姿の具体化を図る				グループ課題の遂行		240分
⑩【炭谷】自分の目指す看護師とは-自ら目指す看護師の姿の具体化を図る				グループ課題の遂行		240分
⑪【炭谷】保健・医療・福祉システムと看護の役割-社会の仕組みの中での看護の役割を理解する				第10章:保健医療福祉の関連について考える		240分
⑫【炭谷】看護における法的側面-看護に関する法律について理解する				テキストの熟読		240分
⑬【炭谷】看護における倫理と価値-各自の倫理観を確認し看護師の役割、責任、必要な基本的態度について具体的なイメージを持つ				テキストの熟読		240分
⑭【炭谷】私が目指す看護師像とそのための課題(マンダラート)				グループ発表準備		240分
⑮【炭谷】まとめ				学んできたことの整理と課題の確認		240分
使用テキスト: ・志自岐康子 他: ナースング・グラフィック基礎看護学①:看護学概論 メディカ出版 ・川喜田二郎:KJ法入門コーステキスト KJ法本部・川喜田研究所 ・KJラベル6号 ・フロレンス・ナイチンゲール 看護覚書 現代社				その他参考文献など: 川島みどり:看護を語ることの意味、看護の科学社 竹内孝仁:医療は「生活」に出会えるか、医歯薬出版株式会社 (入学前学習課題図書)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 様々な知識や情報を集め、統合して、自分の言葉で表現する努力を望みます。 また、グループの中で自分の役割を自主的に見つけて遂行する態度を期待します。						

看護学科

1 年

科目名: 看護技術論 I				担当教員 氏名: 高橋 絹代	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 実務経験から、患者の身体サインをどのようにとらえるか。見えないものを可視化できる技術として教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
看護実践の手段として活用される看護技術について必要な基本的知識・技術・態度について学習する。また看護実践を展開するための方法として人間関係を成立・発展させる技術について理解を深め、対象のヘルスニーズを判断するために必要な基礎的知識や技術を習得する。				コミュニケーション技術 ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8	
A 知識・理解力		対象のヘルスニーズを判断するために必要な基礎的知識や技術を習得できる。看護の対象である人々の安全、安楽、自立、個性を支えるために正確な知識、技術の習得の必要性がわかる。			
B 専門的技術		バイタルサインの測定技術を習得できる。			
D 問題解決力		科学的・分析的思考過程を理解することができる。			
E 自己管理能力		演習やグループワークを通して、自己の役割を理解し、リーダーシップおよびメンバーシップのあり方を形成する。			
F チームワーク・リーダーシップ		人間関係を成立・発展させる技術として、コミュニケーション技術の実践への活用方法が理解できる。			
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: %	演習: 20 %	その他: 10 %	
特記事項: 上記の「その他:10%」については、授業での参加姿勢(出席状況)や取り組み姿勢を評価する。					
アクティブラーニング要素: 課題解決学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク) プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 初回の講義の際に伝える。適宜、レポートによる課題を提示する。テーマや提出日は講義内に伝える。グループワーク、課題学習、演習(実技)を行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 提出された課題は確認し不足等の指摘を行なったうえで点数化し、評価に含める。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【高橋】オリエンテーション(看護技術論 I の学修内容)、看護技術の考え方			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
②【高橋】コミュニケーション 面接の実際(グループでインタビューを体験)、カウンセリング技法の実際			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
③【高橋】ヘルスアセスメント 健康観察、アセスメントの実際(2人グループでインタビュー)			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
④【高橋】ヘルスアセスメント 課題:バイタルサイン測定の手順 テキストP87~104			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑤【高橋】バイタルサイン			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑥【高橋】バイタルサイン・計測テキスト(P107~122)			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑦【高橋】ヘルスアセスメント(実技) バイタルサインの測定・計測			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑦【高橋】ヘルスアセスメント(実技) バイタルサインの測定・計測			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑨【高橋】ヘルスアセスメント(実技) バイタルサインの測定 課題35人の血圧測定			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑨【高橋】ヘルスアセスメント(実技) バイタルサインの測定 課題35人の血圧測定			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑪【高橋】フィジカルアセスメント:呼吸器・循環(実技) 聴診・打診の実際 演習課題の提出			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑪【高橋】フィジカルアセスメント:呼吸器・循環(実技) 聴診・打診の実際 演習課題の提出			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑬【高橋】フィジカルアセスメント:消化器・運動器(実技) 聴診・打診の実際 演習課題の提出			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑬【高橋】フィジカルアセスメント:消化器・運動器(実技) 聴診・打診の実際 演習課題の提出			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
⑮【高橋】フィジカルアセスメント:事例演習(実技)・看護技術論における知識の確認とまとめ			テキスト・ナーシングスキル等の確認 課題プリント	【予習】60分 【復習】60分	
使用テキスト:①茂野香おる:系統看護学講座:専門分野 I 基礎看護学(3)基礎看護技術 I、医学書院 ISBN978-4-260-03564-4-C3347			その他参考文献など:三上れつ、小松万喜子編:演習・実習に役立つ基礎看護技術一冊に基づいた実践をめざして、ヌーヴェルヒロカワ		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):この授業は、看護実践の基盤となる基本知識と技術を身につけるための授業科目です。また、対象把握のための身体審査の方法であり、科学的なアセスメント展開を行えるために求められる技術です。確実な技術を身につけられるよう主体的な学習姿勢をもって受講してください。					

看護学科

1 年

科目名: 生活行動援助技術論				担当教員 氏名:高田亮子、高橋 綱代、古里直子、炭谷英信、稲垣尚恵、泉朱子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	備考	
2	1年次 前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		日常生活行動が人間にとって最も重要な援助である。基本的欲求を満たすために、臨床現場で対象となる人々に安楽で心地よいケアが提供できる根拠のある技術修得に向けて、より体感型の構成としたい。			
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
生活に関する行動の意義を理解し、個々の健康レベルに合わせ生理的欲求に関するニーズに対応し、根拠に基づいた援助ができる。				生活行動 個々のニーズ 根拠に基づく援助  健康レベル 生理的欲求	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9.	
A 知識・理解力		人間にとっての環境、活動・運動、食事、排泄、清潔など、それぞれの意義を理解することができる。			
B 専門的技術		個々の健康レベルに合わせ、生理的欲求に関わるニーズに応えることができる。			
C 論理的思考力		看護行為にあたり、その根拠を述べることができる。			
G 倫理観		援助にあたり、個人のプライバシーを守る配慮ができる。			
H コミュニケーション力		対象のニーズに対応できるためのコミュニケーション力を養う。			
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 60 %	レポート: 20 %	発表: %	実技試験: 10 %	その他: 10 %	
特記事項: テスト: 60%は、国家試験対策を踏まえた各単元の要点を問う筆記試験、レポート: 20%は、ケアの視点と根拠の理解度を評価する。その他: 10%では、演習時の取り組み状況や授業に対する姿勢を評価する。					
アクティブラーニング要素: 課題解決学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク) プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 各単元ごとに課題提示あり。演習では適宜技術の確認を行う。第30回に各単元別要点整理の試験を実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 提出された課題は確認し不足等の指摘を行ったうえで点数化し、評価に含める。					
使用テキスト: ①系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ「基礎看護学③」医学書院 ISBN978-4-260-04212-3 ②藤本真紀子監修:看護技術がみえる①「基礎看護技術」MEDIC MEDIA ISBN978-4-89632-733-5				その他参考文献など: ・解剖生理学(メディカ出版)	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実習室を使用しての自己学習を支援しますので、積極的に予習・復習に取り組んでください。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
回数	項 目		学習内容		学習に必要な時間(分)
1	【高田】オリエンテーション、看護における安全・安楽 安全を守る意義 安全確保、看護と事故、事故分析、事故対策		テキスト・ナースングスキルの確認 予習テキストP462～469をまとめる		予習(60分) 復習(60分)
2	【高田】看護における安全 安全管理の技術①感染予防の技術 感染予防の意義と方法、消毒法、医療廃		テキスト・ナースングスキルの確認 予習テキストP423～435をまとめる		予習(60分) 復習(60分)
3	【高田】手洗い、個人防護具の扱い方、薬液消毒(演習)		課題の整理		予習(60分) 復習(60分)
4	【高橋】環境調整技術 療養生活の環境 病室の環境のアセスメントと調整・病 床環境を整える 課題:ベッドメイキングの手順		テキスト・ナースングスキルの確認 予習テキストP11～20をまとめる		予習(60分) 復習(60分)
5	【高橋】病床環境を整える(演習:ベッドメイキング A、B別日)		ナースングスキルの確認		予習(60分) 復習(60分)
6	【高橋】病床環境を整える(演習:ベッドメイキング A、B別日)		テキスト・ナースングスキルの確認、課題のま とめ、テキストP20～22をまとめる		予習(60分) 復習(60分)

※前ページよりつづき

看護学科

1 年

科目名: 生活行動援助技術論		授業計画		準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
7	【高橋】基本的活動の援助			課題の整理	予習(60分) 復習(60分)
8	【高橋】体位・体位変換、ボディメカニクス・移動・移乗(演習:A、B 別日)(演習)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
9	【高橋】リネン交換(演習:A、B 別日)やってみよう!みんなで考えるリネン交換			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
10	【高橋】睡眠と休息の援助			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
11	【泉】食事援助技術の基礎知識			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
12	【泉】食事介助・口腔ケア(講義と演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
13	【炭谷】排泄援助技術の基礎知識(自然排尿および自然排便の介助)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
14	【炭谷】排泄援助技術の基礎知識(排便を促す援助)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
15	【炭谷】排泄:排泄の援助:床上排泄の援助・おむつ交換(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
16	【炭谷】排泄:排泄の援助:床上排泄の援助・おむつ交換(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習(テキストP59~86)・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
17	【炭谷】陰部の清潔と導尿(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 前回のレポートの予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
18	【古里】清潔の援助の基礎知識			テキスト・ナーシングスキルの確認 前回のレポートの予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
19	【古里】病床での衣生活の援助			テキスト・ナーシングスキルの確認 前回のレポートの予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
20	【古里】清潔の援助の実際①清拭			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習(テキストP185~188)・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
21	【泉】清潔の援助の実際②洗髪・部分浴			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
22	【泉】洗髪①(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
23	【泉】洗髪②(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
24	【泉】手浴・足浴①(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
25	【稲垣】衣生活・清潔の援助②(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
26	【稲垣】衣生活・清潔の援助①(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
27	【稲垣】衣生活・清潔の援助②(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
28	【稲垣】衣生活・清潔の援助②(演習:A、B 別日)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
29	【稲垣】生活行動に関わる援助についてのまとめ			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
30	【高橋】生活行動に関わる援助についてのまとめ、実技試験(車椅子への移動)			テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)

## 看護学科

科目名: 地域・在宅看護学概論			担当教員 氏名: 炭谷 靖子 他		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修
実務経験を用いてどのよ、病院、訪問看護事業所管理者、介護支援専門員、介護認定調査員などの実務経験を活かして、地域と在宅で暮らし続けるための理解、看護職の役割について教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要: 地域・在宅看護論は、地域に住むあらゆる健康レベルの人々が、その人らしく住みながら地域で暮らし続けることを支援することを目的とする。そのためには、地域で生活する人々の暮らしを理解するとともに暮らしが健康に与える影響を理解することが必要である。地域で暮らす人々の健康課題を理解するために、ここでは、長寿、少子高齢社会について学び、暮らしが生活に与える影響について考える。また、あらゆる人々が住みながら地域で暮らし続けるために多様な場で健康を支える看護職の役割について学ぶ。					キーワード 地域包括ケア 地域連携 家族看護 ヘルスプロモーション
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力	広い視野で長寿、少子高齢社会について考え、地域と在宅という場の特徴を捉え、あらゆる人が住み慣れた地域で暮らし続けるための支援ができるようになるために ①地域・在宅看護の概念、対象、方法について理解する ②多様な場で働く看護職の役割について考える ③家族、家族看護の概念について理解する。				
C 論理的思考力	グループワークをする中で、論理的思考力、自己管理能力、チームワーク、コミュニケーション力を向上させる。				
E 自己管理能力					
F チームワーク・リーダーシップ					
H コミュニケーション力					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 60 %	レポート・課題 20 %	発表: 10 %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項: 本科目はアクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、討論により地域・在宅で暮らす人々の理解と地域包括ケアについての考え方を深め、看護師としての役割を学ぶことを狙いとしています。その他10%は取り組み具合を評価します					
アクティブラーニング要素 課題解決型学習 (ディスカッション、ディベート) グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に最終テストを行います。適宜レポートの提出と発表を課します。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テスト、課題は後日返却します。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
① ガイダンス、地域・在宅看護の学び方、地域・在宅看護の概念			{予習}テキスト2 第1章③熟読 {復習}該当ページノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
② 社会・自然環境の変化と看護 暮らしの中の看護の変遷			{予習}テキスト2 ①②熟読 {復習}該当ページノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
③ 地域の人々の暮らしを支える看護(暮らしの中にある看護)			{予習}テキスト1第1部、3部該当ページ熟読 {復習}該当ページノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
④ 地域で生活する人々の理解 (地域の中にある暮らし)			{予習}当事者の疾患について調べる {復習}授業内容をノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑤ 地域に暮らす家族を対象とした看護 家族について			{予習}テキスト1 第2部第3章該当ページ熟読 {復習}該当ページノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑥ 地域に暮らす家族を対象とした看護			{予習}テキスト1 第2部第3章該当ページ熟読 {復習}該当ページノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑦ 家族の機能 家族の健康			{予習}テキスト1 第2部第4章熟読 {復習}該当ページノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑧ 健康と暮らしを支える看護 (保健、医療、福祉システムと看護の役割) グループワーク			{予習}職種について調べる {復習}授業の概要をノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑨ 健康と暮らしを支える看護 (保健、医療、福祉システムと看護の役割) グループワーク			{予習}職種について調べる {復習}授業の概要をノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑩ 健康と暮らしを支える看護 (保健、医療、福祉システムと看護の役割) グループワーク			{予習}職種について調べる {復習}授業の概要をノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑪ 健康と暮らしを支える看護 (保健、医療、福祉システムと看護の役割) 発表			{予習}職種について調べる {復習}授業の概要をノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑫ 健康と暮らしを支える看護 (保健、医療、福祉システムと看護の役割) 発表			{予習}職種について調べる {復習}授業の概要をノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑬ 在宅ケアシステム			{予習}テキスト1 第4部第7章熟読 {復習}該当ページノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑭ 暮らしの中での危機管理			{予習}テキスト1 第4部第8章熟読 {復習}該当ページノートにまとめる	{予習}180分 {復習}60分	
⑮ 地域包括ケアシステムと看護 (グループワーク・まとめ)			{予習}授業を振り返り地域包括ケアを考える {復習}レポート作成	{予習}180分 {復習}60分	
使用テキスト: 1. 家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第5版 (日本看護協会出版会) ISBN 978-4-8180-2098-6			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 地域で暮らす人々の生活に目を向けましょう。自分が自宅での生活の中で、障害や病気をもったとき、現在と生活がどのように変化するかを考えながら学習を進めてください。					

看護学科

1 年

科目名：基礎看護学実習 I				担当教員氏名：高田 亮子 他	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	専門科目	実習	必修	
実務経験をを用いてどのような授業を行っているか：			看護は、既習学習を実際の医療現場で応用しながら、個別の対象がもつ問題に対応できる力を学ぶものである。自己学習能力を強化しつつ、自ら創造性のある学びができるよう、教員と指導者からの助言を得ながら学習が進められる方法としている。		
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード	
病院での実習を通して医療施設と医療従事者及び患者の生活の概要を知る。また、生活行動に障害のある入院患者の生活援助の実際を学び、今後の学習へのイメージ形成と動機付け強化をねらいとする。(臨地実習)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の概要</li> <li>・医療従事者</li> <li>・基礎看護技術</li> <li>・生活行動援助技術</li> </ul>	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9	
A 知識・理解力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習病院の特徴と地域における役割を述べることができる</li> <li>・病院に働く人々とその役割について述べることができる</li> <li>・看護師として必要な知識・技術・態度についてイメージする</li> </ul>			
B 専門的技術		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者に提供されている生活援助項目を見学・一部実施できる</li> <li>・バイタルサイン測定の基本的方法が実践できる</li> </ul>			
C 論理的思考力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の入院前の生活と入院後の生活の違いについて述べることができる</li> <li>・患者の現在の生活における不都合について述べることができる</li> </ul>			
F チームワーク・リーダーシップ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループメンバーと協力して実習を進めることができる</li> </ul>			
H コミュニケーション力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院職員や受け持ち患者と良好な人間関係を築くことができる</li> </ul>			
成績評価の基準と方法：以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： %	レポート： %	発表： %	実技試験： %	その他： %	
特記事項： 以下により総合的に評価する。 ・出席状況 ・実習記録類 ・課題レポート ・実習中の学習態度 * 提出物は期限を厳守すること。 * 原則として遅刻、欠席は認めない。					
アクティブラーニング要素： 課題解決学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク) (プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：担当教員が毎日記録や学習状況を確認し指導を行い、内容および取り組み					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
1年次 前期 1単位 : 45時間			学習内容		学習に必要な時間(分)
実習施設： <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生連高岡病院</li> <li>・高岡ふしき病院</li> <li>・射水市民病院</li> <li>・済生会富山病院</li> <li>・金沢医科大学水見市民病院</li> <li>・西能病院</li> <li>・真生会富山病院</li> <li>・富山西総合病院</li> </ul> * 詳細については実習要項に記載			<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定の事前学習内容について記録用紙に記録する</li> <li>・生活行動援助技術の修得</li> </ul>		【予習】 60分 【復習】 60分
使用テキスト：			その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：看護は実践の学問といわれます。基礎的知識をもとにした応用力が求められます。実際の現場から、知識を関連させられる力が持てるよう能動的な学習姿勢をもって臨んでください。学習や記録の仕方、患者さんや実習施設職員との関わり方等、知識・技術・態度について考える実習としてください。学習管理力として、まずは自らの体調管理、時間管理ができるコントロール力をつけてのぞみましょう。					